

鹿ノ台川柳教室 一月二十三日(月)

お題 「防犯」 (連記) 原広子選

赤い糸切られない様鍵かける	乃り子
核より恐いサイバーに戦慄す	千楽
気をつけよもしもの次フィッシング	よし尚
町内をカチカチ回るお年寄り	俊平
半世紀心に鍵はかけてない	哲子
取り敢えず心の扉締めしておく	勝利
玄関をガードしてます男靴	よう子
留守番はセコムに任かす無精者	えいじ
凝り過ぎて覚え切れないパスワード	英二
きつと来る防犯展に泥棒も	義雄
戸締りを気にする程の宝なく	登美
盗られぬよう残り時間に鍵かける	百合子
防犯が町を愛する輪を作り	ミノル
鍵だけで足りぬ都会のセキュリティー	良一
我が家の施錠忘れてパトロール	アキラ
⑤防犯に役立っている猜疑心	正清
⑥その顔と歩く姿が抑止力	広子

自由吟 (共選) 播本英二選

トランプが次にジョーカー出す恐怖	よし尚
稀勢の里涙が語る相撲道	哲子
天下りクビになりまた天下り	千楽
老人会加入年令再検討	アキラ
スマホやめコマか凧やれ正月だ	よし尚
効能書き本当ならばノーベル賞	アキラ
みどり児の拳の中にある未来	よう子
三日目に帰宅したネコ悪びれず	義雄
上様と請求書では呼ばれてる	乃り子
病院を二軒廻って初出とす	義雄
弱味にも武器にもなっている涙	良一
善と悪ないまぜにして人生きる	登美
魂が入れ替ってる無重力	正清
笑う人不思議な力持ち合わす	えいじ
⑦もちつきに幼なじみの顔がある	えいじ
⑧黒豆を年の数だけ食べてみる	英二

自由吟 (共選) 笹倉良一選

上様と請求書では呼ばれてる	乃り子
稀勢の里涙が語る相撲道	哲子

- 得意絶頂トランプよりも鼻伸びる
トランプが次にジョーカー出す恐怖
とりどりの衣装を秘めて老いの春
魂が入れ替つて無重力
くしゃみでも世界を動かす米のドン
お誘いに振り込み用紙連れてくる
天下りクビになりまた天下り
みどり児の拳の中にある未来
保護主義へ言葉巧みに舵を切る
痛みに小さな刺がもぐり込む
謎秘めて海から進化した不思議
対日本絡めば熱きポピュリズム
善と悪ないまぜにして人生きる
- 俊平
よし尚
広子
正清
哲子
よう子
千楽
よう子
勝利
正清
百合子
勝利
登美
登美
良一
- ④ 見る程に怖い嫉妬の女偏

お題 相変わらず (互選)

- ② 試験前いつも恵方に神だのみ
ぐたぐたにのらりくらりの技が冴え
相変わらず金釘流の筆をもつ
相変わらず君がホラ吹くクラス会
いつ来ても客は居ないが旨い店
- よし尚
アキラ
よう子
百合子
義雄

- 相変わらず暗いニュースに活字泣く
③ おいお茶と言えるだろうか停年後
古希越えて伸び続ける鼻の下
ツイッターを見ざる聞かざる4年間
人生は流転禍福を繰り返す
ボブデイルン今度は僕が川柳で
④ マンネリとうっかり言つて媚を売る
貧富の差同じ空気を吸っている
一〇〇年も郵便ポスト元の位置
昔日の笑顔変らず友来る
⑤ 生き方はヒトに言われて直らない
頑固さが嵩じて首をタテに振る
⑥ お元氣と定型文字のメール打つ
⑦ 年明けも捜しものから動きだす
天下り身内だけに思いやり
責任を曖昧にする赤じゅうたん
五十年二人の距離は微妙です
⑧ 遠目でも君だとわかる歩きぐせ
- よう子
広子
広子
千楽
良一
アキラ
正清
勝利
ミノル
登美
俊平
俊平
正清
哲子
英二
百合子
哲子
登美

2016 年間秀句(互選)

連記 お題「時計」

一生を医師の時計が締めくくる

義雄

自由吟

ためらいの筆跡残る遺言書

登美

互選 お題「嬉しい」

口重い息子から来る古希祝い

千楽

*新春に相応しいリフレッシュな句会。登美さんが三冠王に輝いた。自由吟、互選の双方と十六年度の秀句of秀句の自由吟の部でもトップだった。もう一つリフレッシュ。今回から句会結果をパソコンで打つのをアキラさんが引き受けてくださり素早く対応。これまでの(千)より数倍の速さだった。感謝に堪えません。(千)

次回は二月二十日午後一時から、西集会所で。

お題は「皮肉」と「焼く」、それに自由吟。各2句。

「皮肉」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟(選者2人の共選)は2部を提出。書記担当アキラ

問合せ

五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)